

## 平成 21 年度の活動報告

### (1) 理事会及び総会の開催

- ・第4回理事会開催（平成21年5月13日）

## 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

### 第4回 理事会

平成 21 年5月13日（水） 13:30～16:00

県庁4階 第3会議室

### 議 事 次 第

#### 1 開会、出席者数の確認、議事録署名人の選出

#### 2 議 事

##### (1) 各委員会からの報告等（資料1）

- ①各委員会からの報告
- ②広報委員会からの提案

##### (2) 総会について（資料2）

- ①総会の日程
- ②総会の会場
- ③総会の費用
- ④総会の議案

##### (3) その他理事会において必要と認めた事項（資料3）

- ①理事会の運営要綱
- ②WWFJ 三井物産環境基金申請について

#### 3 閉 会

・第5回理事会開催（平成21年6月14日）

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会  
第5回 理事会

平成21年6月14日（日）10:00～11:00

沖縄大学 2号館 2-505 教室

議 事 次 第

- 1 開会、出席者数の確認、議事録署名人の選出
- 2 議 事
  - (1) 総会について（資料1）
    - ①総会の進め方
    - ②交流会の進め方
  - (2) 事務局の経費等について（資料2）
  - (3) 今年度事業の実施について（資料3）
    - ①沖縄県のサンゴ礁についての現状取りまとめ
    - ②沖縄県におけるサンゴ礁保全についての提案
    - ③自然資源に関する地域での意識調査
    - ④資金調達に関する戦略の検討
    - ⑤その他活動に必要な事項
  - (4) その他理事会において必要と認められた事項
- 3 閉 会

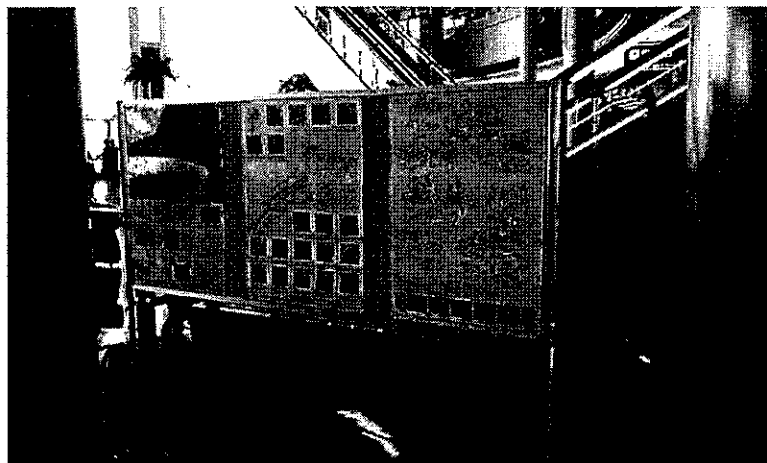
- ・ 第 2 回総会開催（平成 21 年 6 月 14 日）

第 2 回総会議案書

- 第 1 号議案 平成 20 年度の活動報告
- 第 2 号議案 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会寄付金等細則
- 第 3 号議案 規約第 7 条改正  
規約第 10 条改正  
規約第 17 条改正  
規約第 18 条改正
- 第 4 号議案 平成 21 年度活動計画（案）について
- 第 5 号議案 平成 21 年度収支予算（案）について

(2) 美ら海写真展への出展

沖縄県ダイビング安全対策協議会が主催し、夏休み期間中（平成 21 年 7 月 27 日～平成 21 年 8 月 26 日）に、那覇空港のウェルカムホームにて「第 2 回美ら海写真展」開催。自然保護課が共催として、パネル展示を行った際、「沖縄県サンゴ礁保全推進協議会」のポスターを展示。また、パンフレット約 200 部を配布し、協議会の PR を行った。



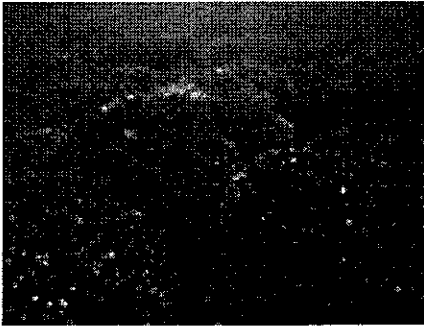
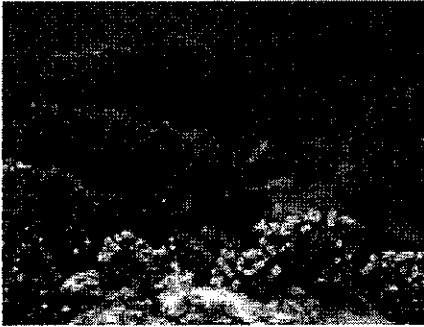


(3) 海洋博研究センター サンゴシンポジウム  
サンゴの移植 ― 諸外国の事例に学ぶ サンゴ礁保全の取り組み ― (後援)

平成 21 年 11 月 26 日 (木) に海洋博記念公園管理財団・総合研究センター主催で開催したシンポジウム「サンゴの移植-諸外国の事例に学ぶサンゴ礁保全の取り組み」の後援を行った。  
シンポジウムでは、タイやインドネシアで実施されているサンゴ礁保全活動の紹介や県内で行われている取り組み事例も紹介された。

**海洋博研究センター サンゴシンポジウム**

## サンゴの移植

### ― 諸外国の事例に学ぶ サンゴ礁保全の取り組み ―

日時：2009年11月26日（木）  
13:30～16:30

会場：海洋博記念公園管理財団  
総合研究センター視聴覚室

参加費：無料

**要 事前申し込み：定員約70名**

コーディネーター：西平千幸〔海洋博研究センター〕〔演題は仮題〕

基調講演：〔30分〕

- ① Pongkorn Voravuthikul [タイ国- Bangkok University 大・環境生物]：タイ国におけるサンゴ礁保全活動 ―サンゴの移植を中心に―
- ② M. S. Soesilawati [バリサンゴ専門家]：インドネシア・バリ島におけるサンゴ群集の再生活動 ― 仮題3分 ―

畜産発表：〔3分〕

- ① 山根洋一〔コラル仲間〕：サンゴ礁保全へのNPOの取り組み
- ② 藤原秀一〔いでか〔株〕〕：石垣島のサンゴ群集再生活動
- ③ 比嘉慎輝〔夏村漁協〕：漁業者が取り組むサンゴ礁保全活動
- ④ 西平千幸〔海洋博研究センター〕：草の植栽保全活動の可能性 ― 仮題3分 ―

総合討論：30分  
司会：中野誠康〔琉大・海洋生物・生態学研究所〕

パネルディスカッションなどの様子 11:00～11:00 [会場にて]

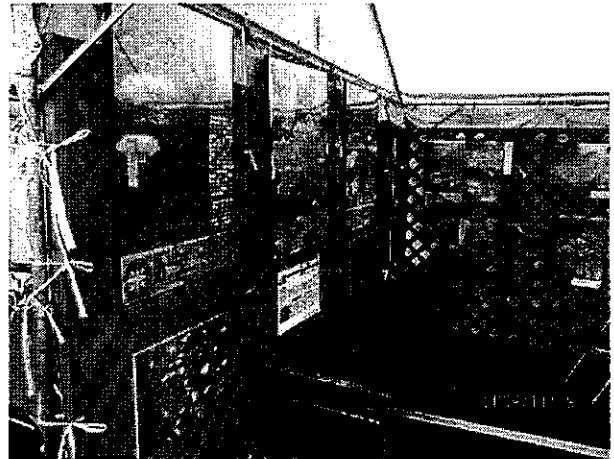
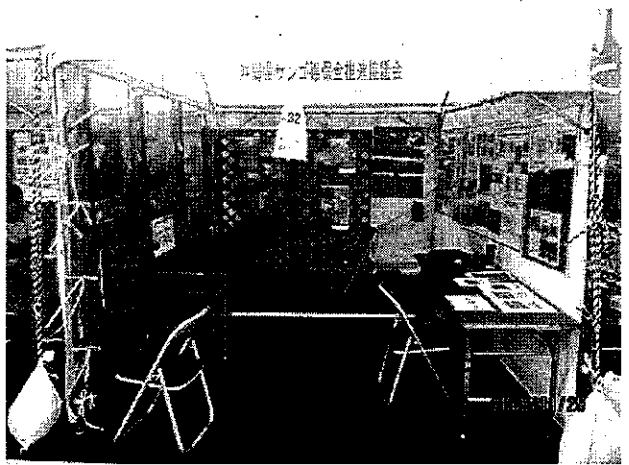
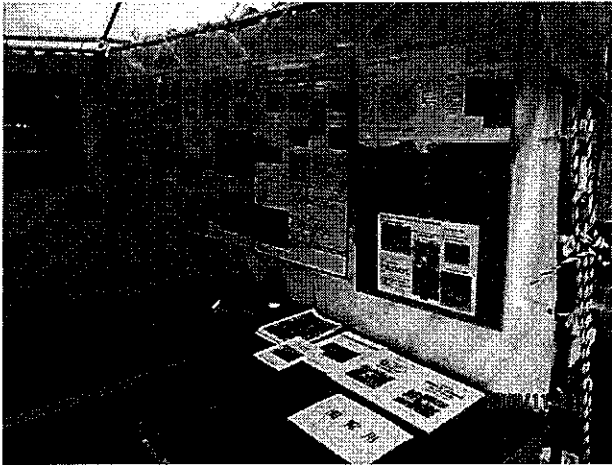
サンゴ礁保全やサンゴの移植活動に関連した取り組みなど、パネルやポスター・パンフレット・標本などの配布も可能です。配布やパンフレットなどの配布をご希望の方は各自ご準備頂戴。活動の紹介や宣伝あるいは情報交換にご活用下さい。

主催：海洋博記念公園管理財団・総合研究センター  
共催：琉球大学酪畜生物科学研究センター・環境学研究所・名城大学総合研究所  
後援：沖縄県文化環境部自然保護課・沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

参加申し込みとお問い合わせは下記まで：  
海洋博記念公園管理財団総合研究センター普及開発課 担当：山田野樹・高 英昭  
電話：0980-45-2255【午前9時～午後5時】 ファクス：0980-45-3300  
Eメール：環境部自然保護課 課長室 【Eメールの件名は「サンゴシンポ」とお書き下さい】

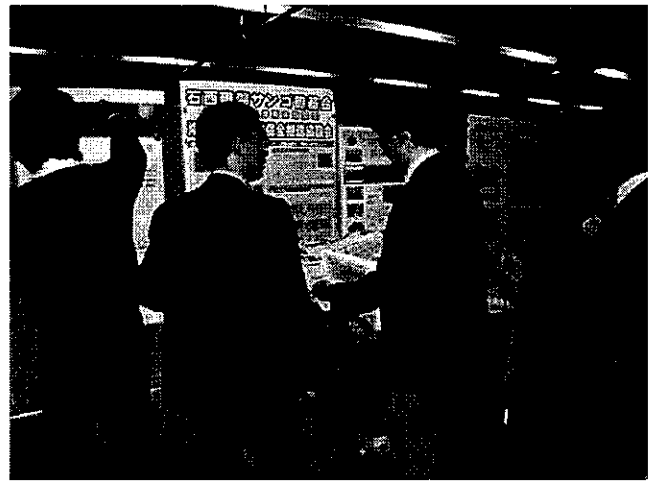
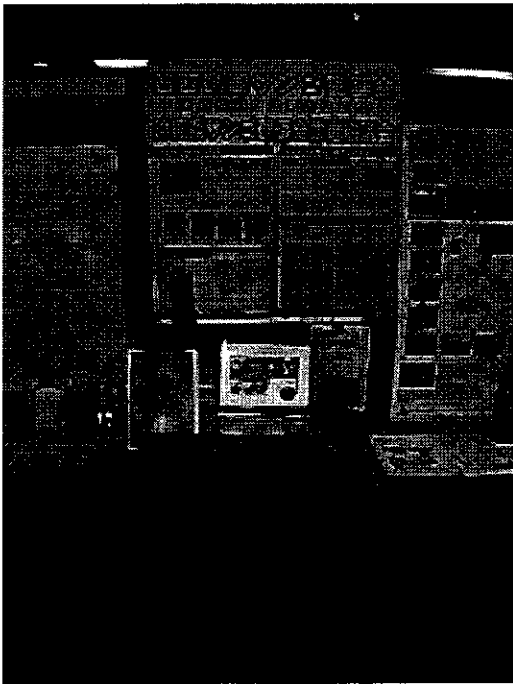
(4) 県民環境フェア inいとまんへの出展

おきなわアジェンダ21 県民会議では、県民一人ひとりが、自らのライフスタイルを見直し、環境保全に向けて主体的に取り組む契機とすることを目的に、子供から大人まで楽しく参加・体験できるイベントとして、毎年「県民環境フェア」を開催しています。平成21年度は、11月29日に糸満市の道の駅で開催されることに伴内、沖縄県ダイビング安全対策協議会、沖縄海洋博記念財団、自然保護課の協力をいただき、パネルや写真、環境教育関連の冊子等を展示した。



(5) 第3回「シンポジウム&NPO・社会起業 見本市 (メッセ)」

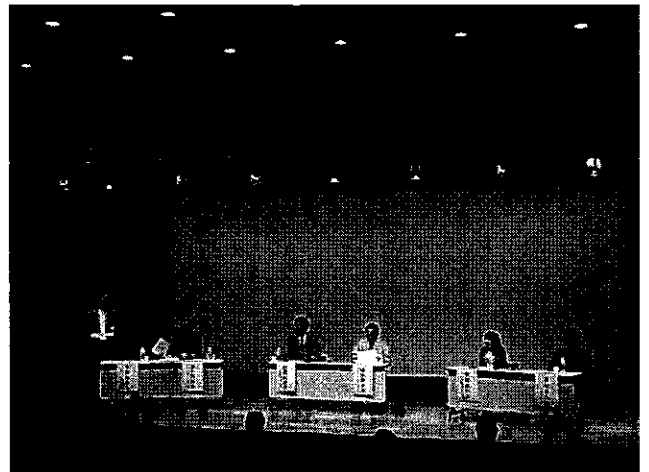
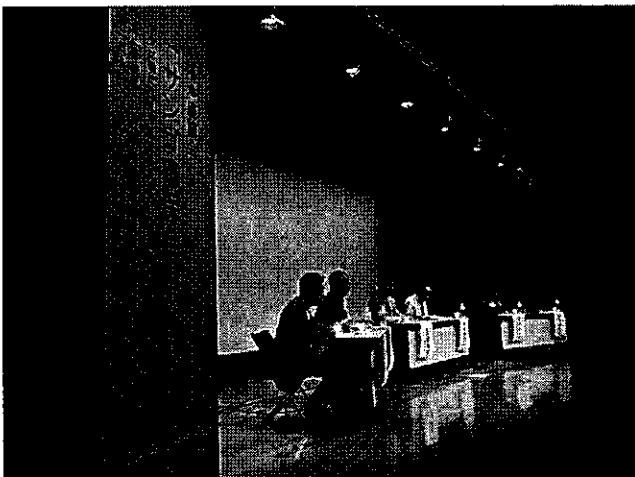
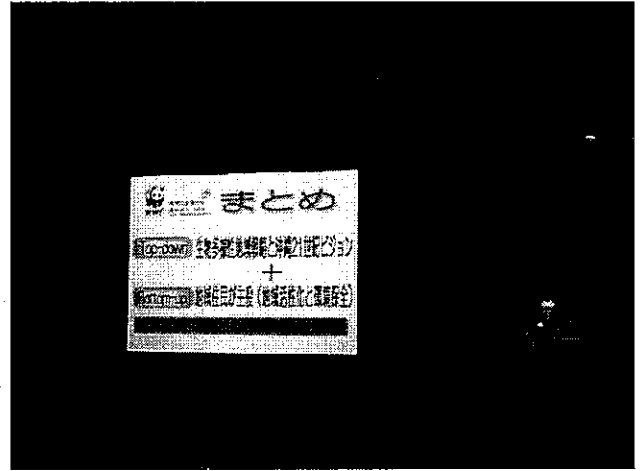
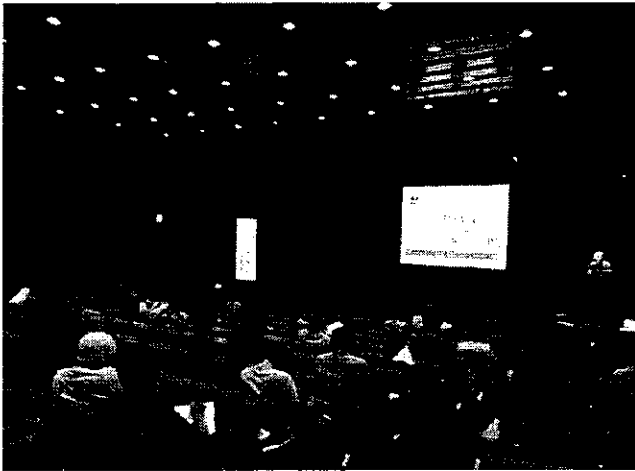
企業経営者、各企業の CSR 担当者、NPO・社会起業家を対象にしたシンポジウムおよびNPO・社会起業 見本市(メッセ)が開催されることに伴い、企業経営者や各企業の CSR 担当者と相互理解を深め、ネットワークづくりを行うために、見本市に、サンゴ礁保全推進協議会のポスターの展示及びパンフレットの配布を行った。



(6) パネル座談会「サンゴ礁保全って何」

～サンゴ礁に住まう私たちだから、都会からできる保全を考える～ の開催

沖縄県立博物館・美術館と共催によりパネル座談会「サンゴ礁保全って何？」を開催。座談会には、協議会の理事を含め、5名のパネリストにより、自然保護、漁業、観光、環境教育等の観点から、話題提供をいただき、都市に暮らす県民に、サンゴ礁の現状を正しく認識し、時々の状況に合わせた行動をとることが可能になるようなアプローチとしてパネル座談会を開催した。





パネル座談会

日本国 成成事業

# サンゴ礁保全って何？

～サンゴ礁に住まう私たちだから、都会からできる保全を考える～

**趣旨** 沖縄県民のほとんどは都市生活者として、生活に海を感じることなく暮らしています。一方で、報道などを通じて、サンゴ礁保全の情報は一方的に大量に提供されています。多くの県民はそれを吟味する機会もなく、時としてバランスを欠く行動を正当なものとして受け入れざるを得なくなっています。情報を批判し、現状を正しく認識し、時々々の状況に合わせた行動をとるためのアプローチとして、様々な視点からの保全活動が経てきた経過を疑似体験する機会をつくりました。都市に暮らす皆さんに、サンゴ礁保全のためのこのような考え方を生活に取り入れてもらうことを目的として、本シンポジウムの趣旨としたいと思います。

## 沖縄県立博物館・美術館 博物館企画展 「造礁サンゴ～楽園をつくった偉大な建築家～」

### 関連シンポジウム

2010年2月27日(土) 14時～17時(210名定員、当日先着)

沖縄県立博物館・美術館 3階講堂

【プログラム】

コーディネーター 島袋聡明

「生活の中にあふれるサンゴ礁保全に関わる情報をどう取り寄せ、どのように関わるのか」  
中野直樹(沖縄県サンゴ礁保全推進協議会、琉球大学)

パネラー 登壇提供

「生きもの多様性を高めた地産づくり」 花村匡樹(OVWFジャパン)

「海を中心とした村づくりー環境保全は村づくりー」 北島善徳(那覇村漁業協同組合)

「お人の気遣い地産地産の産品から観光サービス業のダイバーへー」 横村直典(沖縄県ダイビング安全対策協議会)

「都会と現場を結ぶ」 崎崎園子(国立環境研究所)

「都市住民から見たサンゴ礁」 藤切直久(OVWF法人協会の自然史研究家、琉球大学)

主催 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会、沖縄県立博物館・美術館

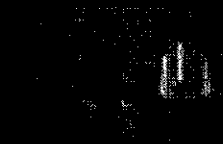
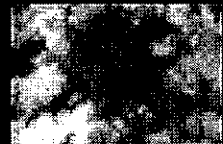
協賛 日本サンゴ学会、サンゴ保全推進協議会

### あなたのサンゴ礁イメージ募集!!

水中艦上に居るアザヒ、結ばるあなたのベストサンゴ礁のイメージを募集します。

入賞作品はシンポジウム当日表彰しますので、下記協賛会ホームページを参照の上、書いてご応募下さい。

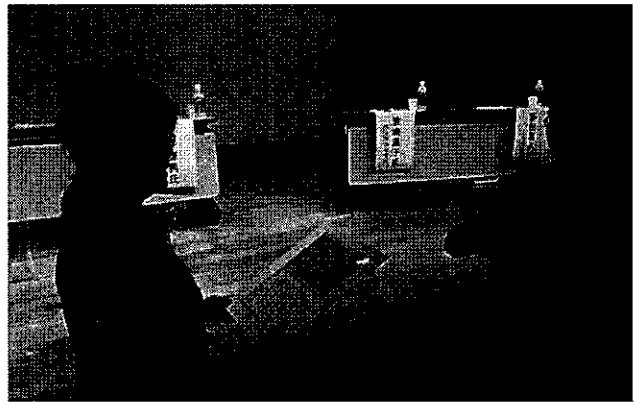
<http://www.pref.okinawa.gov.jp/web/oc2.com/index.html>



(7) 第1回あなたのサンゴ礁イメージ展の実施

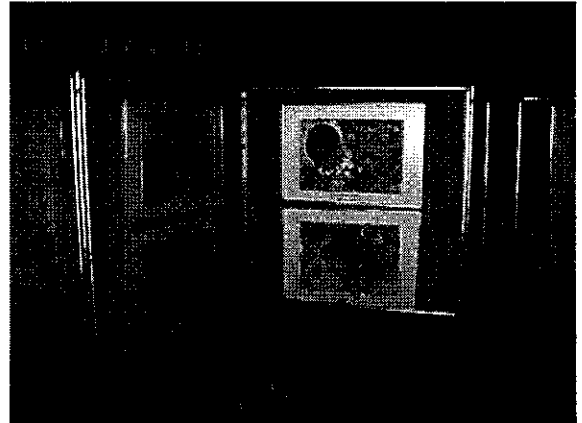
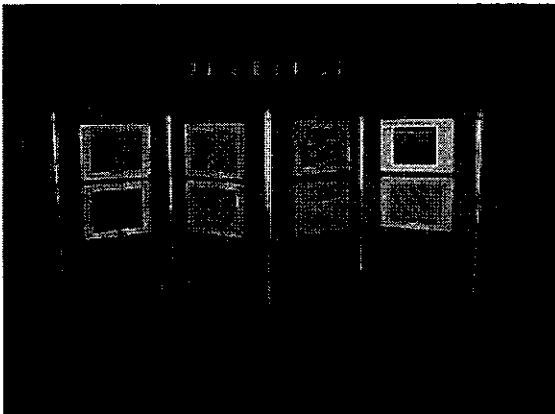
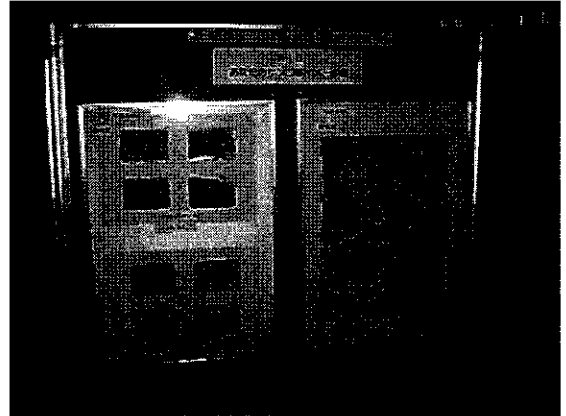
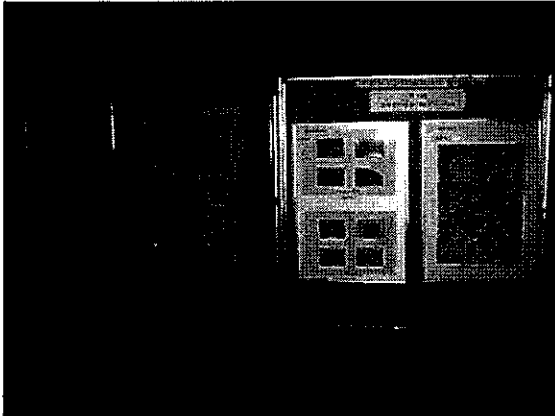
サンゴ礁をイメージする作品を作成することにより、自分たちのサンゴ礁を認識させ、将来的な保全意識の向上のきっかけにすることを目的に、パネル座談会に合わせて、サンゴ礁をイメージする写真及び絵画を募集し、ユニークで優秀な作品を審査・選考し、入賞作品を企画展のザネル座談会において表彰を行った。

絵画の部：優秀賞1点、特別賞2点  
 陸上写真の部：優秀賞1点  
 海上写真の部優秀賞1点



(8) サンゴの日パネル展

平成 22 年 3 月 5 日のサンゴの日に、県庁 1 階ロビーでパネル展を実施しました。自然保護課の作成したパネルやサンゴ礁コンテストの作品を展示しました。



(9) 三井物産環境基金活動助成事業「久米島応援プロジェクト」

WWF ジャパンが三井物産環境基金の助成を受けて実施するシンポジウム (2012 年開催予定) 開催などの活動に対し、本協議会として協力 (企画、運営等) していく。

◆代表者

財団法人 世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン)  
(担当者 自然保護室 安村 茂樹、サンゴ礁保護研究センター 上村 真仁)

◆協働実施者

NPO 法人 海の自然史研究所	藤田 喜久
(独)国立環境研究所	山野 博哉、浪崎 直子
(財)自然環境研究センター	木村 匡
沖縄県衛生環境研究所	仲宗根 一哉
(財)沖縄県環境科学センター	長田 智史

(久米島の地域団体、行政機関、学校等と計画段階から密接に連携を取り、実施していく)

◆活動内容

ラムサール条約の登録湿地に指定されるなど生物多様性が高い一方で、赤土等流出対策が緊急の課題となっている久米島をモデル地域に位置づけ、以下の A~C の地域主体の保全活動を展開する。

**活動 A** 久米島の地域社会、自然環境の実態と変遷を調査すると共に、石垣島白保など、これまでの南西諸島地域での環境保全活動の成功、失敗事例を分析する。

**活動 B** これらの情報を久米島の地域団体、地域住民と共有し、より効果的・持続的な保全活動スキームを導き出す。スキームを実証するモデル活動を地域団体等と実施し、同時に地域住民への普及啓発を図る。これら久米島での一連の活動の成果と効果を評価する。

**活動 C** 上記取り組みの結果を、行政、NGO などの多様な主体が連携する沖縄県サンゴ礁保全推進協議会へ提供する。協議会を通じて、南西諸島の生物多様性保全の核となる利害関係者、政策決定者等に、取り組みの仕組み、ノウハウや成果を認知させるロビー活動を展開し、他地域へ波及させる。

◆久米島でサンゴの大群集を発見

沖縄島の西約 100km に位置する久米島の沿岸で、大規模なサンゴ群集が発見されました。WWF ジャパンの「久米島応援プロジェクト」に参加している研究者が、2010 年 4 月および 5 月に、現地で潜水調査を行なったところ、数百メートル四方を超える広大な範囲に広がっており、貴重な環境が残されていることが明らかになりました。

◆WWF と久米島町が協定書を締結 地域活性化を視野に入れた環境保全活動で連携

2010 年 5 月 18 日に WWF (世界自然保護基金) ジャパンと久米島町は、地域活性化を視野に入れた環境保全活動を相互に協力しながら実施することに合意し、協定書を締結することとなりました。サンゴ大群集をはじめとした久米島ならではの豊かな自然の資源を持続的に活用してゆくための工夫や沖縄県各域で深刻な問題となっている赤土等の流出などについて、久米島内外のさまざまな個人、団体の連携を促し、効果的な保全対策を進めます。

WWF ジャパンと久米島町は、上記活動を実施するために必要な組織を整備し、目標を定め、その目標を達成するための方針及び計画を策定し、実施してゆきます。活動期間は、2010 年 6 月 1 日から 2012 年 9 月 30 日です。